

令和3年11月

各位

八戸市東京事務所長

## 八戸レポートの送付について

時下ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

「八戸レポート令和3年11月号」をお送りいたしますので、ご高覧くださいますようお願いいたします。

八戸市が中心街に整備を進めてきた新たな市美術館が、11月3日にオープンしました。

新美術館は、アートを通じた出会いが人を育み、人の成長がまちを創る「出会いと学びのアートファーム」をコンセプトとしており、新たな文化創造と八戸市全体の活性化を図ることを目指しています。

地上3階建て、延べ床面積は4,586㎡で旧美術館の約3倍の広さがあり、館内中心部のジャイアントルームを核に、展示や創作活動を発表する大小の個室群が配置されています。

開館後最初の企画となる開館記念展「ギフト、ギフト、」の内容や施設の詳細について、ホームページで紹介しておりますので、ぜひご覧ください。

◆「八戸市美術館」のホームページ

<https://hachinohe-art-museum.jp>

### ◎皆様へのお願い

職業、役職、住所などに変更がある場合は、八戸市東京事務所までお知らせくださいますようお願い申し上げます。

八戸市東京事務所

〒102-0093 東京都千代田区平河町2-4-2 全国都市会館5階

電話 (03) 3261-8973 / FAX (03) 3239-6723

E-mail: [tokyo@city.hachinohe.aomori.jp](mailto:tokyo@city.hachinohe.aomori.jp)

# 八戸11月号 レポート

令和3年10月の八戸市内での出来事や  
八戸市に関連する情報をお届けします。

## 【行政】

記事	概要
(1)	八戸市プレミアム商品券 2次販売実施
(2)	八戸市がヤマト運輸と連携 オリジナル段ボール作製
(3)	YSアリーナ八戸でPCR検査センター業務開始
(4)	八戸駅東口駅前広場再整備 八戸市が検討委設置
(5)	八戸市と日本郵便東北支社 包括連携協定締結
(6)	八戸ブックセンター「Library of the Year 2021」特別賞受賞
(7)	衆院選 青森2区 神田潤一氏初当選
(8)	八戸市長選 熊谷雄一氏初当選

## 【産業】

記事	概要
(9)	ヴァンラーレ八戸がサプリメントを商品化 東北すっぽんファーム、八工大と連携
(10)	子どものUターン就職 保護者向けセミナー開催
(11)	八戸港でサバ、マイワシ1765トン水揚げ 数量今季最多
(12)	八戸市第三魚市場A棟にサバ水揚げ 今季2回目の稼働
(13)	学生らに向け企業PR オンライン説明会開催

## 【地域】

記事	概要
(14)	八戸赤十字病院 最新の放射線治療機導入
(15)	八戸高専の研究に学会奨励賞 がん治療にAI活用
(16)	八戸花火大会 11月28日開催決定

## 【文化・スポーツ】

記事	概要
(17)	交流拠点としてのスタジアム・アリーナ「フラット八戸」東北で唯一選定
(18)	プロ野球ドラフト 黒田（工大一高）、福島（八戸西高）、八木（光星高出）に指名
(19)	チエコと八戸絆深め YSアリーナで展示会開催
(20)	2023年冬季八戸国体 スローガン、シンボルマーク案発表

## 【行政】

記事	概要
(1)	<p><b>八戸市プレミアム商品券 2次販売実施</b></p> <p>八戸市プレミアム商品券を発行する同商品券実行委員会は10月1日、同商品券の2次販売を実施すると発表した。申し込み期間は10月3日から12日までで、特設ウェブサイトで受け付ける。市民を対象に2100セットを用意し、1万3千円分（千円券を13枚つづり）を1万円で販売する。13枚のうち8枚は、参加全店舗で利用できる「共通券」で、残り5枚が飲食店や小規模店舗のみで使える「応援券」。1人2セットまで申し込み可能で応募多数の場合は抽選となる。利用期間は来年1月末までで、市内の飲食店やスーパーなど1148店（9月末現在）で利用可能。</p>
(2)	<p><b>八戸市がヤマト運輸と連携 オリジナル段ボール作製</b></p> <p>八戸市は、ヤマト運輸（東京）と連携し、特産のサバとイカをデザインしたオリジナル段ボール「はちのへからおとどけものBOX」を作製した。シティプロモーションの一環で、市の認知度向上と市外に住む出身者に郷土のつながりを感じてもらうのが狙い。同社は全国の約100の自治体と連携してご当地段ボールを作成しており、青森県内では初めて。段ボールはBOX8（23×32×15センチ、税込み140円）とBOX10（27×38×29センチ、税込み190円）の2種類。BOX8にはイカ、BOX10には「八戸前沖さば」がデザインされており、複数の段ボールを組み合わせると1杯のイカと1匹のサバが出来上がる。10月8日から市内4か所の営業所と八食センターで取り扱っている。</p>
(3)	<p><b>YSアリーナ八戸でPCR検査センター業務開始</b></p> <p>八戸市と建設業や介護施設を展開する木下グループが連携して設置した「新型コロナPCR検査センター八戸店」が10月11日、YSアリーナ八戸で業務を開始した。無症状で保健所の検査対象となっていなければ誰でも利用できる手軽さが特長で、行政と民間が連携して検査センターを開設するのは青森県内で初めて。利用は事前予約制で、最短で2日以内にメールで検査結果が通知される。1日最大130人の検査が可能で、1日当たり50人程度の利用を見込んでいる。木下グループが運営主体となり市は場所の提供や広報などのサポート業務を担う。検査費用は税込み1900円。</p>
(4)	<p><b>八戸駅東口駅前広場再整備 八戸市が検討委設置</b></p> <p>八戸市は10月11日、八戸駅東口駅前広場の再整備に向けた検討に着手した。東口駅前広場は1993年に整備が完了し、東北新幹線八戸開業の2002年に一部改良した。広さは約9千平方メートルで、自家用車の短時間（30分）無料駐車場や乗降場、路線・高速・観光バス乗降場などの機能がある。再整備では、面積は変更せず、自家用車の短時間駐車場やタクシープールなどのスペースを見直すほか、利用者に分かりやすい動線の確保を図る。同日、学識経験者や公共交通事業者、八戸駅周辺地区の代表者ら12人からなる基本計画の検討委員会が発足し、来年度までに計画を策定する方針を確認した。</p>
(5)	<p><b>八戸市と日本郵便東北支社 包括連携協定締結</b></p> <p>八戸市と日本郵便東北支社は10月14日、地域活性化や市民サービスの向上を目的に包括連携協定を締結した。同社との協定締結は青森県内で38例目。連携内容は、安心・安全な暮らしの実現、スポーツ振興、地域活性化および市民サービス向上の3項目で、郵便局のネットワークを活用しながら事業を進めていく。記念事業で、市のマスコットキャラクター「いかずきんズ」と疫病をはらう妖怪「アマビエ」がコラボした「アマビエずきん」の小型記念日付印が制作され、来年3月末までの期間、市庁本館前のポストに投函された郵便物に押される。</p>

(6)	<p><b>八戸ブックセンター「Library of the Year 2021」特別賞受賞</b></p> <p>八戸ブックセンターが、これからの図書館の在り方を示唆する先進的な活動を行う機関に贈られる「Library of the Year 2021」の特別賞を受賞した。同表彰は、NPO法人知的資源イニシアティブが2006年から毎年実施しているもので、今回は八戸ブックセンターのほか、全国の図書館など2件がライブラリアンシップ賞、4件が優秀賞をそれぞれ受賞した。八戸ブックセンターは、地方都市で減少傾向にある書店を公立運営することで継続性を持たせている点や、本について語り合う環境や執筆サポートなど時代に合ったサービスの在り方を構想し、市民に提供している点などが評価された。11月26日には最終選考会が行われ、受賞7件の中から大賞などを決定する。</p>
(7)	<p><b>衆院選 青森2区 神田潤一氏初当選</b></p> <p>第49回衆院選は10月31日に投票、即日開票された。連続12期務めた大島理森前衆院議長の引退で、いずれも選挙初挑戦の新人3人が争った青森2区は、大島氏の後継として手厚い組織戦を展開した神田潤一氏（自民）が終始リードし、初当選を飾った。高畑紀子氏（立民）と田端深雪氏（共産）が非自民票の取り込みを狙ったが、支持は広がらなかった。神田氏は、3人の中で最も遅い出馬表明となったものの、大島氏が築いた支持基盤や組織力を生かして出遅れを挽回。急速に支持を広げ、公示後も優位に選挙戦を進めた。</p>
(8)	<p><b>八戸市長選 熊谷雄一氏初当選</b></p> <p>任期満了に伴う八戸市長選は10月31日、投開票が行われ、前青森県議で新人の熊谷雄一氏が初当選した。熊谷雄一氏、5選を目指した現職の小林眞氏、新人の清水文雄氏の3人がいずれも無所属で立候補した。県議5期目で市長選に挑んだ熊谷氏は「市政に新しい風を吹き込む」と訴え、デジタル化や環境問題への対応、八戸圏域の経済活性化を政策の柱に掲げた。後援会組織が機能し、水産業界など地元経済界と連動した選挙態勢を敷いた。</p>

**【産業】**

記事	概要
(9)	<p><b>ヴァンラーレ八戸がサプリメントを商品化 東北すっぽんファーム、八工大と連携</b></p> <p>サッカーJ3のヴァンラーレ八戸が、温泉を活用してスッポン養殖を手掛ける東北町の東北すっぽんファーム、八戸工業大と連携してサプリメントを商品化した。ヴァンラーレは地元企業と連携して地域を盛り上げようと、社会貢献プロジェクト「南部ブランド応援コラボ商品」を展開している。商品は、すっぽん粉末に美容健康素材プロテオグリカンなどを配合した「温泉すっぽんアミノ+プロテオグリカン」（7粒入り、税込み918円）で、東北すっぽんファームが市販するものと同じだが、パッケージデザインを八工大の皆川俊平准教授が担当し、ヴァンラーレ仕様に一新した。チーム公式オンラインショップやホーム戦会場などで販売する。</p>
(10)	<p><b>子どものUターン就職 保護者向けセミナー開催</b></p> <p>子どものUターン就職を希望する保護者向けセミナーが10月9日、八戸市のデーリー東北新聞社で開かれた。八戸商工会議所、八戸地区雇用対策協議会、八戸市、デーリー東北新聞社が主催。オンラインも含め計23人が参加し、地元で活躍する経営者らの意見などを聞きながら、子どもとの関わり方やサポートの仕方を考えた。第1部では、八戸学院大学長補佐の玉樹真一郎氏が自身の経験を踏まえてUターンについて解説。第2部のトークセッションでは、市内企業の経営幹部らが保護者の就職支援について意見を交換し、それぞれの立場からアドバイスをした。</p>

(11)	<p><b>八戸港でサバ、マイワシ1765トン水揚げ 数量今季最多</b></p> <p>八戸港で10月9日、大中型巻き網船団の運搬船13隻が、サバとマイワシ計1765トンの水揚げした。サバは三沢沖で操業した8隻が605トンの水揚げし、入札の結果、10キロ当たり1260～525円で取引された。マイワシは北海道東沖から5隻が1160トンを入札し、入札では10キロ当たり400～350円の値が付いた。両魚種ともサイズは小さめだが、数量は今季最多。八戸近海のサバ漁はこれから本格化する見込み。</p>
(12)	<p><b>八戸市第三魚市場A棟にサバ水揚げ 今季2回目の稼働</b></p> <p>八戸市第三魚市場の荷さばき施設A棟で10月23日、大中型巻き網船団が三沢沖付近で漁獲したサバ28トンが水揚げされた。水揚げしたのは、同市の運搬船「第16惣宝丸」(310トン)で、入札の結果、値段は10キロ当たり706円となった。市は今季から、サバ専用のA棟の利用促進に向けイワシを対象魚種に追加しており、A棟の利用は7月のマイワシ90トンに続き今季2回目、サバでは初だった。</p>
(13)	<p><b>学生らに向け企業PR オンライン説明会開催</b></p> <p>北奥羽地方で事業展開する企業の人材確保や地元就職の促進に向け、デーリー東北新聞社が企画する「リクルートラウンジ2021」のオンライン企業説明会が10月23、24日に行われた。首都圏在住の大学生や専門学生のほか、地元の学生、Uターン就職の希望者ら45人が、ビデオ会議システム「Zoom」を利用してリモート形式で参加した。企業側は地元を代表する26社と県、八戸市がエントリーし、事業内容や福利厚生面などをPRした。</p>

【地域】

記事	概要
(14)	<p><b>八戸赤十字病院 最新の放射線治療機導入</b></p> <p>八戸赤十字病院は最新鋭のがん放射線治療機を導入し、高精度かつ、患者の体への負担が少ない治療を提供している。同病院の装置はスウェーデンのエレクタ社の最新機器「Versa (バーサ) HD」で、5月に北東北の医療機関で初めて導入した。がんの形状に合わせてピンポイントで腫瘍部分に放射線を照射できるため、照射時間が短く、副作用を最小限に抑えることができるのが特徴。従来の機器と比較して、患者の生活の質の大幅な向上が期待される。今後は、さらに短時間で高い治療効果を発揮する「強度変調回転照射法 (VMAT)」の技術も取り入れる予定だという。</p>
(15)	<p><b>八戸高専の研究に学会奨励賞 がん治療にAI活用</b></p> <p>八戸高専機械・医工学コースの井関祐也准教授が取り組むAI (人工知能) を活用したがん治療についての研究が、日本ハイパーサーミア学会の研究奨励賞を受賞した。ハイパーサーミア (がん温熱療法) は、熱によってがん細胞の減少や死滅を目指す治療で、井関准教授らは、AIと超音波画像を組み合わせ、体内温度を「見える化」する研究に着手。二つの異なるAIが競い合うようにデータや情報の精度を高め合う「GAN (敵対的生成ネットワーク)」といわれる仕組みを利用し、体内温度分布の画像化を可能にした。AIにさまざまなパターンを学習させていくことで精度や汎用性を高め、今後は臨床の場での活用を視野に入れ、研究内容を深めていく。</p>
(16)	<p><b>八戸花火大会 11月28日開催決定</b></p> <p>第41回八戸花火大会の大会委員会は10月12日、8月から開催を延期していた大会を11月28日に実施することを決めた。新型コロナウイルスの感染予防策として、会場の館鼻岸壁に入場できるのは招待客と有料観覧席の購入者に限定し、屋台などの出店はない。打ち上げ開始を当初より2時間早めて午後5時とし、1時間程度での終了を見込み、約6千発の打ち上げを目指す。購入済みの観覧券は利用可能で、払い戻しにも対応する。11月1日から観覧券の再販売を開始する。</p>

【文化・スポーツ】

記事	概要
(17)	<p><b>交流拠点としてのスタジアム・アリーナ「フラット八戸」東北で唯一選定</b></p> <p>八戸市の多目的アリーナ「フラット八戸」が、スポーツ庁などの定める「多様な世代が集う交流拠点としてのスタジアム・アリーナ」に東北地方で唯一選定された。スポーツ庁と経済産業省は2020年度から「多様な世代が集う交流拠点としてのスタジアム・アリーナ」の選定に着手しており、2025年度までに20拠点の選定を目指している。選定された施設は今後、国の支援を受けながら、地域活性化の核となる施設づくりを進める。</p>
(18)	<p><b>プロ野球ドラフト 黒田（工大一高）、福島（八戸西高）、八木（光星高出）に指名</b></p> <p>プロ野球の新人選手選択会議（ドラフト会議）が10月11日、東京都内で開かれ、八戸工大一高の黒田将矢投手が西武5位、八戸西高の福島蓮投手が日本ハム育成1位、三菱重工Westの八木彬投手（八学光星高出）がロッテ5位にそれぞれ指名された。黒田は、最速149キロの直球と切れのある変化球を操る本格派右腕。福島は身長190センチの長身から投げ下ろす角度のある直球が武器。八木は八学光星高卒で東北福祉大を経て三菱重工名古屋（愛知）に入団し、チーム再編で三菱重工West（兵庫）所属。最速152キロの直球を武器に活躍している。</p>
(19)	<p><b>チェコと八戸絆深め YSアリーナで展示会開催</b></p> <p>10月21日からYSアリーナ八戸で一般公開される展示会「1920-2020チェコ共和国と日本 外交・経済・文化交流の100年」のオープニングセレモニーが10月20日、同会場で開かれ、チェコの駐日特命全権大使マルチン・トムチョ氏や八戸市内の関係者らが絆を深めた。同市では、東日本大震災翌年の2012年に国際ロータリーの被災地支援事業で高校生をプラハに派遣したことを契機に、チェコと定期的な交流を続けている。展示会は全国を巡回し、文化や外交、芸術、スポーツなど多方面に及ぶ日本とチェコとのつながりをパネルで紹介する。八戸では10月31日まで開催される。</p>
(20)	<p><b>2023年冬季八戸国体 スローガン、シンボルマーク案発表</b></p> <p>八戸市は10月21日、2023年1月28日～2月5日に同市と南部町で開催される2023年特別国体冬季大会スケート・アイスホッケー競技会「未来へつなぐ 八戸国体」の大会スローガン、シンボルマークの青森県実行委員会案を発表した。両案は7月～9月に公募され、スローガン案には同市の会社員太野瑞貴さんの作品「銀盤に 君の軌跡よ 花ひらけ」が選ばれ、シンボルマーク案には八戸工業大3年藤縄大樹さんの作品が選ばれた。八戸の「八」を脚に見立て、スケートで滑る様子を、氷の結晶や色合いで冬季国体らしさを表現したという。両案は正式決定後、大会ポスターなど各種印刷物に掲載され、大会PRに役立てられる。</p>

はちのへ

## ふるさと寄附金のご案内

### 『ふるさと寄附金』で八戸を元気に!

八戸市では、「八戸を応援したい!」「八戸が大好き!」という方々からいただく寄附を『ふるさと寄附金』と名付け、八戸の魅力を高めるためのさまざまな事業に活用させていただきます。ぜひ、『ふるさと寄附金』という形で八戸市を応援してください!



### ふるさと寄附金の3つの魅力

- 1 寄附金の使い道を指定できる**  
震災復興、子育て支援、まちづくりなど複数の分野から、寄附金の使い道を選ぶことができます。
- 2 税金が控除(還付)される**  
控除上限額内で寄附を行うと、合計寄附額から2,000円を超える部分について、所得税の還付や住民税の控除を受けることができます。(控除上限額は収入や家族構成によって異なります。詳しくはお住まいの市区町村の個人住民税担当部署にお問い合わせください。)
- 3 お礼の品がもらえる**  
八戸市では、10,000円以上の寄附をされた八戸市外にお住まいの個人の方に、地域の名産品を「お礼の品」としてお届けしています。

## 八戸市東京事務所

〒102-0093 東京都千代田区平河町2-4-2 全国都市会館5階

TEL:03-3261-8973 FAX:03-3239-6723

Email:tokyo@city.hachinohe.aomori.jp

[所長] 松橋 大輔 [主幹] 川村 幸男 [事務員] 浜井 章代

八戸市東京事務所では、企業誘致や八戸市関連情報の発信等を行っております。関連情報がございましたら、ご提供くださるようお願いいたします。また、事務所の近くにお越しの際は、どうぞお気軽にお立ち寄りください。

### 申込み方法

#### 郵送・FAX・メール

- 「ふるさと寄附金申込書」に必要事項をご記入の上、ご提出ください。
- 申込書は市ホームページからもダウンロードできます。
- 申込書の郵送をご希望の方はご連絡ください。

市ホームページ



#### インターネット

- 下記2つのふるさと納税ポータルサイトから商品をお選びいただけます。
- 各ポータルサイトの決済方法に従って、寄附金のお支払いをお願いします。
- クレジットカード決済をご希望の場合はこちらからお申込みください。

ふるさとチョイス



楽天ふるさと納税



### 送付先

#### 八戸市 広報統計課 ふるさと寄附金担当

〒031-8686

青森県八戸市内丸1-1-1

TEL:0178-43-2319

FAX:0178-47-1485

Email:furusatotax

@city.hachinohe.aomori.jp

※担当部署が住民税課から広報統計課に変わりました。